

素JOY! 素LIFE!



● 海神幼稚園の現在と未来

● 海神幼稚園が大切にしていること

● 廃材による造形遊び

● 幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿とは



幼稚園ってどんなところ？

幼稚園の「今」をちよっとノゾキミ

FREE
無料

幼児教育の今と向き合い、チャレンジを繰り返し、地域に根を張ってきた海神幼稚園。子どもたちの思いに向き合い続ける幼児教育とは。幼稚園の「今」をのぞいてみよう...

ミライ☀️テラス
未来を照らす幼稚園

かいじんようちえん

海神幼稚園の現在と未来

少子化の加速× 共働き世帯の増加× 子育て支援ニーズの変化

令和6年現在、船橋市は64万を超える人口を抱え、都内へのアクセスもよい核都市といえることができます。その船橋市においても出生数は年々減少しています。2000年以降のピーク時には、6000人程でしたが2023年には4000人を割り込み、現在も減少が続いています。10年程前までは、船橋市の私立幼稚園にも、毎年3000人程の子どもたちが入園し、10000人を超える子どもたちが幼稚園に通っていました。2024年現在、市内で幼稚園に通う子どもたちは6000人を割り込んでいます。私どもの幼稚園規模（100人）でいうと40園分の人数が消失したことになり、たった10年で40%減少という驚くべき数字です。経営状態の悪化が園運営に及ぼす影響は計り知れません。設備や遊具など教育環境の整備が滞り、園児の減少に合わせた教職員の削減など、教育施設が園経営に振り回されることは決して望ましいことではありません。

現在、国策として、様々な少子化対策が進められています。結婚や出産に対し

子どもの 最善の利益を 追い求める

海神幼稚園は、市内40の幼稚園の中では、比較的小規模の幼稚園ですが、この10年間定員100%充足を維持し続けています。私たちは、このことを、子どもたちや、保護者のみなさんと日々積み上げた信頼関係に対する通知表のように捉え、励みにしており、今後も、「3歳になったら海神幼稚園に行こう」と言ってもらえるように魅力的な園づくりを行っていききたいと思っています。共働き世帯の増加により、保育に対する社会的ニーズが高まり、「便利なサービス」が求められる今だからこそ、そういった保護者のニーズを受け止める前提として、園で行われる幼児教育の本質は、子どもの最善の利益を追い求めなくてはなりません。当然ながら、子どもたちのコロナが、コンビニエンスであることの犠牲になってはならないのです。だからこそ、子どもたちが、安全で居心地がよく、自分らしく生活し、ドキドキワクワクするような幼稚園であるよう力を尽くすのです。

て、明かるい展望を抱けないようなネガティブな話題ばかりが報道され、見聞しますが、それ以上に、子育ての楽しさや醍醐味、子どもが与えてくれる希望や喜びにスポットを当て、子どもたちがもたらす社会的な恩恵に目を向けることが大切です。そして、子どもたちや、その家族に寛容な社会の在り方や、行政による切れ目のない支援があることを願うばかりです。

出生数の継続的な減少や、共働き世帯の増加により、0〜2歳児の保育所利用率も年々増加傾向にあります。また、子育て支援の家庭ニーズの変化もあり、幼

地域の教育拠点（ハブ） となる園を目指して

現在、海神幼稚園では、在園児の教育活動とは別に、未就園児を対象とした親子プレ教室や、親子教室のイベント、多種の課外教室、カリキュラム付預かり保育（サマースクール）、各種の小学生の課外活動、夏の寺子屋（サマースタディ）など、多くの活動を通じて、未就園児・在園児・卒園児との関わりを続けています。また、一部の活動では、卒園児である高校生や大学生が、準備や先生のサポートに顔を出してくれています。子どもたちにとって、こうしたお兄さん・お姉さんとの触れ合いも、こころ躍る素敵な出来事であることは言うまでもありませんし、同様に、高校生や大学生にとって、かけがえのない経験であり、重要な人生の転機となることもあるので

稚園の対象となる3歳児を迎えた段階で半数以上は保育園等に通っているなど、ますます幼稚園にとって厳しい環境が訪れることが予想されます。近頃では、保育園が教育強化をはかり、幼稚園も保育強化や0〜1、2歳児の小規模保育を行うなど、元来、性質の異なる保育園と幼稚園の領域が混ざり合う傾向にあります。このこと自体は、時流に合わせた変化として致し方ない部分でしょう。しかしながら、事はそれ程簡単なことではありません。教育理念や目的に基づいた幼児教育、乳幼児期の保育は共に高度な専門性を求められ、在園する子どもたちや、保護者、そして、働く教職員を置き去りにして、運営者側の都合では取り組むことが出来ないからです。昨

今の、不適切保育や、教職員の一斉退職、悲しい事故等
は、この三者のいずれかが置き去りにされてしまった結果として、起きてしまった出来事ではないでしょうか。
子どもたち・保護者・教職員の三者それぞれの立場で考え、その三者が海神幼稚園でよかったと思える幼稚園でありたいと考えています。

す。子どもたちが人と人をつなぎ合わせ、そうした子どもたちの力が地域に還元されることが、子どもや子育て文化を大事にできる地域社会の実現に役立つはずです。
素敵な経験や体験、受け取った優しさや助けを、「僕も（私も）伝えたい・渡したい」と波紋のように広がっていく素敵な関わりがあることこそ、当園の一番の魅力です。そして、他には代えがたい、「成長の種」と言うことができます。

令和7年度には、園バスの運行も開始となります。園外活動や幼小接続などの教育活動の充実や、利便性の向上など期待する部分も多く、子どもたちの活動が縦横無尽に展開していくことを考えると、私たちもワクワクします。今後、柔軟且つエネルギーに成長を続ける、元氣な幼稚園でありたいと思います。そして、海神幼稚園ならではの取り組みで、地域の子どもたちや、保護者のみなさんの子育てを応援して参ります。共働きで頑張るみなさんにも、是非、海神幼稚園への入園をご検討頂ければと思います。

理事長 岩堀 岳士



海神幼稚園が大切にしていること



園長 岩堀 理栄子



01

「好きなこと」と出会い、

海神幼稚園では、子どもたちの「好き」を大切にしています。好きな遊びや好きなことに没頭して遊ぶことが、子どもたちの豊かな育ちと学びの土台となります。例えばそれは、自然豊かな園庭で。子どもたちは思いっきり走り回ったり、虫探しをしたり、砂場で遊んだり、毎日それぞれ「好きなこと」に夢中になって遊んでいます。走り回っていた子どもたちは気付けば、チームを組んでルールを作ってリレーっこを。虫探しをしていた子どもたちは、気づけば図鑑を広げて、虫の研究を。砂場で遊んでいた子どもたちは気づけば、大きな山にトンネルを掘って水を流して土木作業員に。それぞれが、好きな遊びをとことん遊ぶ中で、子ども遊びを展開していきます。たくさんさんの発見と新しい発想、そこから生まれる遊びの発展。子どもたちの遊びに終わりはありません。誰かに言われたことではなく、決められたことでもなく、とにかく自分がやりたいことを自分の心と体で感じながら、自分の頭で考えながら、「とことん遊ぶ」。その過程で、想像力や創造力、忍耐力や集中力、応用力、行動力、頑張る力ややり抜く力などのさまざまな非認知能力が育まれていきます。やがてこの経験が、自分らしさを形成し、自ら学ぶ意欲や生



02

「自分でできた!」を大切に
「子どもの主体性を育む保育」

海神幼稚園では子どもたちの「自分で」を大切にしています。先生たちは、その姿を見守り、必要に応じてサポートをしています。「自分でできた!」この小さな成功体験の積み重ねが、自信に繋がり、主体性が育っていきます。子どもたちのできるチャンスを奪わない、できるチャンスを逃さない、これが基本です。「すごいね、ここまでできたね」と頑張ったこと、できたことを褒め、その次のステップをそっとサポートします。見守ってもらっていること、褒めてもらったこと、認めてもらったことで、子どもたちは安心して、次へのチャレンジをどんどんしていくことができるようになります。「自分でやりたい」「自分でできる」その気持ちを最大限に尊重し、見守ることが子どもの主体性を育むために一番大切です。また、海神幼稚園の先生たちは、子どもたち一人一人の「自己ベスト探し」をいつもしています。同じ子どもなんて一人もいないし、同じ日なんて一日もない。だから、できること・できないことを他の人と比べる必要はないのです。比べていいのは昨日の自分だけ。昨日と比べてできることが増えていたら、それだけでもう、十分に花丸です。昨日まで泣いて登園してい

た子が、泣かずに門に入ってきた時、三輪車をお友だちに貸すことができるようになった時、制服のボタンを自分で留められるようになった時、お弁当を残さず食べられるようになった時、毎日、子どもたちはそれぞれの自己ベストを更新しています。その一つ一つを見逃さず認めてあげる、他人と比べる必要がないことに気づき、感じさせることで、自己肯定感を高めていきたいと思っています。そして保護者の皆さんにも子どもたちの些細な変化や成長、今日のできるようになったこと（自己ベスト）をお伝えするようにしています。子どもたちの嬉しい姿を積極的に保護者の方に伝えることで、成長を共感できるだけでなく、保護者の方の我が子の成長に対する考え方や捉え方にも変化が生まれます。他の子と比べない、出来ないことを指摘するのではなく、できること・できるようにしたことをおうちでも一つ一つ認めて、褒めてあげて欲しい。そうすることで子どもたちは安心して自分が持っている本来の力を思う存分に発揮できるようになります。毎日が自己ベスト!今日も私たちは子どもたちの自己ベスト探しを続けています。

03

失敗は学びのチャンス



子どもたちが毎日経験しているすべてのことは、子どもたちの成長にとっても意味のあるものだと思います。そこには、いいことも悪いこともあります。楽しいこと、嬉しいこと、喜びも、もちろん大切な経験ですが、それと同じくらい、困ったこと、叱られること、負けること、間違えること、葛藤、挫折、失敗…この経験が子どもにとってはとても大切です。なぜなら、この先の人生、失敗や間違え、負けることがない人生なんてありえないからです。人は誰でも失敗をします。失敗は決して悪いことではありません。その時に、どうすればいいのか、身を持って経験すること、考えることが大

切であり、その経験が学びとなり、その子に培われていきます。その子の根っこ部分を強く逞しくしていくのです。つまり、負と思われる経験も、子どもたちにとっては、必要な栄養なのです。人にはその時その時に必要な栄養（経験）があります。その栄養を私たちがいかにたくさん与えるか、子どもたちがいかにたくさん吸収するかというところが大切なのです。想像力という言葉について、この仕事をしているとよく考えます。想像力というとなにか壮大な、平和・未来・宇宙…なんてことを思い浮かべがちですが、もっと身近な想像力というものがあります。それは日常にある想像力です。

お友だちの気持ちを想像すること、自分の行動によって起こることを想像すること、これが大切です。お友だちのおもちゃを奪い取ったら、その子はどんな気持ちになるか想像してみること、こんな言い方をしたら、相手はどう思うのか想像してみること、椅子の上のぼってジャンプしてみたらどんなことになるか想像してみること、子どもたちにはその想像力を身に付けて欲しいのです。それにはやはり、失敗の経験が必要です。自分のせいでお友だちが泣いてしまった、先生に叱られた、嫌な気持ちになった、痛い思いをした、そんな経験を積み重ねていくことで、子どもたちは自ら学んでいきます。そして、今、自分がこんなことをしたら、お友だちはどんな気持ちになるのか、ということ想像できるようになっていくのです。それが、「おもいやり」の心になっていきます。時にはお友だちを泣かせてしまった方がいい、お友だちと喧嘩してもいい、自分が泣いた方がいい、それを乗り越えた時に、相手の気持ちがわかる優しい心の持ち主になっていくのである、そう思っています。失敗こそ学びのチャンスです。他人の気持ちや痛みは想像でしか推し測ることができません。だからこそ、相手を思いやる気持ち!おもいやり、がとても大切なことです。子どもたちの「思いやりの心」を大切に育んでいきたいと思っています。

あそびがまなび
あそびでまなぶ

廃材による造形遊び

私のクラスの子どもたちは、今、廃材遊びに夢中です。「もっとこうしたい」「○○にするにはどうしたらいいのだろう」と一生懸命に試行錯誤をしながら作る姿が見られます。子どもたちは遊び込んでいる間にどんどん新しいアイデアや工夫が浮かんできたり、イメージが膨らんできたりしている様子です。その結果、思った通りの物が出来た時は、何がどうよかったかというのに気づいたり、納得したりして、達成感や満足感で溢れています。

廃材遊びを通して、子どもたちは、上手いできないことや困ったことに對して、すぐに諦めるのではなく、どうしたらいいのだと、考えたり、改善しようとしたりすることができるようになりました。廃材遊びは、子どもたちの創造力を豊かにするとともに、子どもたちの深い学びに繋がっていると感じます。

そして、それ以前に、廃材遊びをしている子どもたちは、とにかく楽しそう！気づくとあっという間にたくさんあったはずの材料がなくなっ てしまします。「見て見て！楽器を作ったよ」「僕はゴミ収集車を作ったよ。」子どもたちの頭の中を覗いているようで、見ているこちらの方が楽しくなります。

教諭 川上千波



子どもたちが思い思いに作りたいものを作り込むことができるように、できるだけたくさんの種類の廃材を用意することを心がけています。創造の幅が広がるように廃材だけでなく、テープやマジックもあるといいですね！

廃材遊びのねらい

- 創造力や想像力を豊かにし、自由に伸び伸びと自分なりに表現することを楽しむ。
- 素材の性質や大きさの違いを考えながら、自分の思いやイメージしたものを形にする楽しさを味わう。
- 作っていく中で試行錯誤や工夫をし、できた時の喜びを味わう。



目的は見栄えの良い作品を作ることではないため、結果ではなく過程を見守ることを大切にしています。一人一人の思いを受け止め、作品が出来た時の喜びを一緒に味わってあげたいです。



04

日々、アップデイト
チームワークから生まれる挑戦

私はアップデイト、という言葉が大好きです。アップデイト＝向上心、いいことを耳にしたら、すぐに取り入れてみる、悪いところを指摘されたら、すぐに改善してみる、自分のこととなるとなかなかできないこともあります。これが幼稚園のこととなると、とにかくやってみたいになります。そこには、うちの職員の最強のチームワークがあるからです。うちの園では、先生同士のおしゃべりはいつでもオッケーです。おしゃべりをする中で、先生たちは無意識に情報交換をし、共通理解をしています。お互いのクラスの子たちのことをよく知ること、共感し合うこともできます。なので、おしゃべり大歓迎！それはもう、子どものこと、保育のことに限らず、昨日のテレビの話でも、週末のプライベートの話でもいいのです。それを話すことで、先生たちは共感者を得て、心の健康が生まれます。笑い合える環境ができ、風通しのいい職場ができます。それこそが、いい保育への一番の秘訣です。先生が元氣だと、子どもにも元氣が伝わります。先生が楽しいと子どもたちにもその楽しさが伝わります。先生たちが笑い合える保育をしていると、子どもたちにも笑顔が溢れます。そう感じるからです。そして、風通しのいい職場ができると、若い先生たちも「こんなことがしたい、あんなことがしたい」という自分の保育のビジョンをどんどん口にできるようになっていきます。若手が思っていることを言うこと、これが幼稚園のアップデイトには欠かせない要素です。経験のあるベテラン先生の貴重な意見と、若手の先生の新しい風、これをお互いに忌憚なく言い合えることで、新しいことにもどんどん挑戦することができるようになります。



様々な人や地域社会と関わる体験 ～対面学習や地域交流～



交通安全教室



小学校体験



科学実験教室



生パフォーマンス



出前食育学習



小学生との交流

番外編



幼児期の終わりまでに 育ってほしい10の姿



言葉による伝え合い



健康な心と体



協同性



自立心



自然との関わり・生命尊重



思考力の芽生え



社会生活との関わり



道徳性・規範意識の芽生え



豊かな感性と表現



数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚



ロゴマークに込める思い

海神幼稚園のロゴには、3本の木の枝と10色の丸があります。3本の枝には、子どもたち、保護者の皆様、そして私たち教職員が寄り添い支え合っており、子どもの育ちを見守っていくという意味があります。海神幼稚園では、子どもの成長への喜びを保護者の皆様と共感し、分かち合いたいという願いから、ご家庭とのコミュニケーション・連携を大切にしています。

10色の丸は、十人十色「みんなちがってみんないい」…子どもたち一人ひとりの個性を大切に、その子のいいところを伸ばしていきたい、という思いを込めました。さらに、この10色の丸は、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」も表しています。これは幼児期の育ちを小学校へ繋げるために子どもの育ちを10項目に分けて具体化したものです。子どもたちの「10の姿」は日々の生活や遊びの中に詰まっています。私たちはこの「10の姿」を育む保育を大切にしています。一人ひとりの育ちを認め、保育者同士でこの育ちを確かめ合い、それぞれの良さを受け止めていく中で、子どもたちそれぞれの10の姿を育てていきたいと思っています。



健康な心と体

自立心

協同性

道徳性・規範意識の芽生え

社会生活との関わり

豊かな感性と表現

言葉による伝え合い

数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

自然との関わり・生命尊重

思考力の芽生え

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿とは…

10の姿は幼児期の育ちを小学校でも理解してもらうために具体化したものであり、10の姿を活用して幼児期の育ちを小学校に伝え、幼児期の学びを就学後の学びに繋げるものです。したがって、就学までにここまで育てなければいけない、という到達目標ではなく、子どもの育ちをさまざまな視点から捉えるための方向目標です。また、それぞれの個性や個人差によって、興味関心は違いますので、全ての子が平均的に10の姿が育っている必要はありません。

10の姿を通して、私たちは子どもの育ちを多面的に捉えるようにしています。同じ活動であっても、子どもの興味関心によって、育つ力は違います。幅広い視点で子どもへの声かけや環境構成を行うことで保育が豊かになっていきます。また、保育中には気づかなかったことも、保育日誌や職員会議で振り返ることで、だんだん視野が広がり、この活動で子ども何の力が育ったかということを意識し、考えるようになってきました。そのために、当園では、子どもたちの10の姿を振り返り、子どもの育ちを考えることをテーマとした園内研修を定期的に行っています。教員一人一人が共通理解を深め、同じ方向を向いて子どもたちの成長を見守っていくためにも、10の姿が私たちの保育の大切な柱となっているのです。



令和2年3月におきた、コロナウイルス感染症の流行は、感染対策として、ソーシャルディスタンスやMittu コロナなどの新しい生活様式を生み出すこととなりました。そもそも、「人や物と関わること」が肝要である幼児教育の根幹を揺るがす出来事でした。幼児教育や幼稚園（保育園）の存在意義・価値を自問自答し、保護者や子どもの思いと丁寧に向き合い、園全体がチームとなり、「幼児の学びを止めない」為に来ること全力で取り組みむことで、この困難を乗り越えました。

3月の緊急事態宣言に伴う臨時休園期間には、コロナ対策の換気工事に着手し、あおぞら絵本ひろばの開催、教職員による動画製作・配信は80本に及びました。身体的接触を避けざるを得ない期間も、コロナの触れ合いを続け、園行事においても、教育的な見地から、ただ闇雲に、安易に中止することせず、感染対策と並行して、知恵を絞って実施するための努力を続けました。当時は得体的しれないウイルスへの恐怖や、世間の反応に戸惑いつつも、必死に情報を収集し、発信し、対策を講じるなど、「正しく恐れる」とを心掛けていました。

高強度の感染症対策や、衛生維持管理の見直しを進めるだけでなく、アフターコロナに向けて、防犯管理システムの導入や、園庭遊具の新設（による遊び場の分散）、保育室のフローリング更新の計

画を進め、また、長期休業期間中のイベント型の預かり保育（サマースクール）の開設、小学生活動の強化など、3か年程度の計画を立てて、少しずつ着実に実行してきました。

そして、この苦しい期間を通じて、私たち海神幼稚園のパーパスやビジョンを再確認するとともに、幼児教育の社会的な価値を実感することが出来ました。また、制限された状況下においても健気に笑顔で通園する子どもたち、保護者のみなさんの理解と協力、教職員の熱意や献身に身にかけて感じ、「この幼稚園ならこの経験を活かし、より良い園づくりができる」と確信したのです。

海神幼稚園には、保育者一人ひとりが熱意と愛情を持ち、協力して自分たちの園をより良くしていくという風土があり、チームとして園の質の向上に力を注いでいます。そして、このチーム力の高さこそ当園のストロング・ポイントなのです。

幼児教育は、「いまや社会インフラである」と言うことができます。わたしたちは、その幼児教育に携わることに、自信や誇りを持ち、そして、温かいまなざしで子どもたちの「今」を支え、洋々たる「未来」へとつながって参ります。何より、子どもたちの健やかな歩みを、保護者のみなさんと共に楽しんで参りたいと思います。

（理事長 岩堀岳士）

編集後記

コロナとの戦いが、子どもたちや幼児教育に対する想いをより強いものに。

預かり保育 課外教室

降園後の時間も、過ごし方は盛りだくさん！

園庭で、おともだちや親子の時間をゆっくり過ごすのもよし。おともだちと預かり保育で、おやつ食べて、のんびり遊ぶのもよし。やりたいことを課外教室でがんばるのもよし。もちろん、おうちでゆっくりテレビを見るのもいいよね。

預かり保育



おうちで過ごすように、のんびり、ゆったり。それぞれが好きな遊びで過ごす特別な時間... 今日は何する??

バスによる送迎



降園後の通常便だけでなく、預かり保育終了後・課外教室終了後のバス運行を行います。

※利用者の状況に応じてルート及び停留所は変更する可能性があります。

園庭開放

思い思いの自由な時間。大人も子どもも、楽しそう！いつまでも大切にしたい。そんな時間です。

サマー・スクール

夏のカリキュラム型の預かり保育は、たくさんのおともだちが参加してるよ！

小学生課外教室

小学校進学後も活動継続が可能！継続した成果が、やがて自信となり、楽しく、実りある小学校での生活となるよう期待しています。

やりたいこと
やってみたいこと
たのしい時間
笑顔の毎日

在園児課外教室

課外教室の前後に預かり保育を利用することも可能です！

もじかずくらぶ

もじかずくらぶ

ことばあそび もじあそび
かずあそび ちえあそび



カISTA☆



家庭学習支援教室カISTA☆
(Kaijin Study style)



サマ・スタ

夏休み学習イベント



ベネッセの英語教室

ベネッセの英語教室
BE studio

ベネッセの英語教室
BE studio

卒園後、小学生になっても継続して受講頂けます。
(小学生クラス有)



タノスポ

タノスポ



Kaijin Kids Athletic Club
(タノスポ・体操教室)

課外教室は、それぞれ任意の活動です！お子さんの興味や希望に応じてご利用下さい。

かいじんようちえん

プレ教室体験会

毎年大人気の
プレ教室を
体験してみませんか？

体験会にぜひお越しください！

体験会開催月 1月、2月、3月

申込方法 公式LINEまたはお電話にて

詳細はホームページをご覧ください



※2月下旬より次年度の入会受付予定です。



参加費
無料

どなたでもご参加いただけます！

おやこであそぼう

海神幼稚園の子育て支援イベント

1歳児向け

幼稚園隣
テラテラス1階

場所

2,3歳児向け

幼稚園2階ホール

各回30分程度
※終了後施設開放あり

時間

各回1時間程度
※終了後園庭開放あり

公式LINEまたは
お電話にて

申込方法

公式LINEまたは
お電話にて

詳細はホームページをご覧ください

各イベントの詳細はこちらから

公式LINE



ID検索 @385dgdxz

公式ホームページ



学校法人 吉祥学園 海神幼稚園

千葉県船橋市海神6-18-34

☎ 047-431-5708

